



「木は根によって立つ」

校長 井之上 良一

早いもので先日22日(土)に、二十四節気の一つ「夏至」の日を迎えました。学校では、それに先立つ13日(木)に夏を彩る花として、花壇と正門付近のプランターにマリーゴールドを定植し、併せてマツバボタンの挿し芽も行いました。

今後、すべての苗が順調に生育し、きれいな花を咲かせてくれることを願っていますが、十分に育たない苗も当然出てくるものと思います。

そうした場合、植え替えのために苗を抜いてみると、根を十分に張っていないことが多いようです。当たり前のことですが、根をしっかり張っていないければ、水分や養分を思うように吸収することができません。また、風雨を凌ぐことも難しくなります。

補植の作業をしたことがあります。植物にとって、根はつくづく大切なものであることに気付かされます。実は、全く同じようなことが人についても言えるようです。そのことを、脚本家の倉本聰(くらもとそう)さんは、次のように言うておられます。

「あの大きな木を見てごらん。素晴らしい木だが、あれを根元から切断して他の場所に置いても、不安定で立たないだろう。木にとって大事なものは、葉でも幹でもなく根っこなんだ。木は根によって立つ。されど根は人の目に触れず。芝居でも人生でも、それは同じことだ。」

倉本さんは、『北の国から』というテレビドラマの脚本家として有名ですが、北海道の富良野というところで、俳優や脚本家を育てる塾(昭和59年開塾、平成22年閉塾)を開いておられたそうです。この言葉は、その頃、塾生たちに向かって話された言葉です。

塾生たちは、生活する収入を得るために、地元の農家でアルバイトをしていましたが、全員同じ作業をしているのに、しばらくすると、雇い主の農家の人は塾生を選別するようになったそうです。「あの子はもうよこさないでほしい、

「できればあの子に毎日来てほしい」という具合に。つまり、役に立つ者と立たない者、一生懸命にやる者とさぼる者を農家の人たちは敏感に見極めるのだそうです。

倉本さんは、次のようなことも言うておられます。

「二年間の塾生活をやってみると、『この子は役者には無理だ

な』、『ライターとしてはやっていけないだろう』と思われる生徒が出てくるものです。不思議なことに、私が無理だと感じる生徒は、農家から認めてもらえない者なんです。それは要するに地道な努力をしない人間だということでしょう。そういう者が、しっかりとした根を張ることはできません。」

自分の目標を実現していくためには、遠くの目標を見据えつつ、足もとを踏み固めながら堅実に生きていくことが必要です。「自己を実現する」とは、正直に地道に働き、学び、今を懸命に生きていくことにほかならないのだと思います。要するに、木が根によって立つのであれば、人は地道な努力によって立つほかないのではないのでしょうか。

本校の生徒たちは、個人差はありますが、将来の夢や目標を折々に確認し、学期や月の目標を具体的に設定し、それに向かって日々努力を続けています。今後とも、太く広く深く「根」を張ることができるよう、将来へと続く毎日の一步一步を大切に踏みしめていってほしいと願っています。

避難訓練・引き渡し訓練 6/8

地震を想定した避難訓練を実施しました。今回は、緊急地震速報が流れ、ゆれが伝わるまでにどのように対応すればよいのかを試す訓練を行いました。その後、グループごとに話し合いを行い、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所への移動が大切であることを確認しました。また、地区公民館から提供していただいた保存水、乾パン等を紹介し、備えも大切なことを確認できました。毎年ご協力・ご支援をいただいております。生徒の防災意識の高揚につながっています。本当にありがとうございます。最後に、保護者の皆様にもご協力をいただき、引き渡し訓練も実施することができました。今後も定期的に家族防災会議を開いていただくなど、ご家庭でも防災対策をお願いいたします。



男子バレーボール部 地区総体優勝

6月11日から地区総体が開催されました。本校からは、男子バレーボール部の2人が、伊集院中学校との合同チームで出場しました。生冠中学校との代表決定戦は、一進一退の試合が繰り広げられましたが、見事2セットを連取して県総体への出場を獲得しました。おめでとうございます。昨年の7月から合同チームとなり、練習も伊集院中学校へ移動して行われていました。大変なことも多かったと思いますが、最後まで続けることができたのは立派なことです。県総体までわずかな時間しか残されていませんが、より一層の成長を期待します。

なお、県総体男子バレーボール競技は、7月24日から指宿総合体育館で開催されます。健闘をお祈りします。



花苗の定植作業

日曜参観 6/23

日曜参観を6月23日に開催しました。全体PTAや学校保健委員会では、学校の取組や保護者の皆様にご協力いただきたいことを説明しました。**歯の治療や一家庭一運動**等については、特にご協力をお願いいたします。また、授業参観では生徒たちの普段の学校での姿を見ることができたものと思います。今回の保護者の参加率は9割以上もありました。ご多用の中、本当にありがとうございます。参加率の高さが、生徒たちの学習・体力の向上につながっていくと考えます。今後もよろしく願います。



介護・福祉学習 6/23

鹿児島介護福祉アカデミー「ウェルフェア」から3人の講師をお招きし、介護・福祉学習を実施しました。はじめに、高齢者の身体的特徴や介護の現状等について説明を受けました。生徒からも、介護の今後の課題や自分たちが心がけるべきことなどについて多くの質問が出て、理解を深めることができました。その後は、高齢者の疑似体験を行いました。ゴーグルや装具を着用して、視野全体が見づらくなること、体を動かすことが大変なことなどを体験を通して理解できたようです。日頃から高齢者の方々とふれ合う機会が多い本校の生徒たちですが、今回の学習がこれからの行動に活かされることを期待します。



日	曜	7月の主な行事予定
1	月	おひさまあいさつの日
3	水	2・3年高校説明会(私立)
5	金	救命講習会
10	水	国際理解教育
11	木	「総合的な学習の時間」発表会
12	金	学級専門部会 合同校外学習(すすらん学級)
13	土	土曜授業
15	月	(祝)海の日
16	火	学校専門部会
17	水	石田秀輝先生による特別授業 代議員会
19	金	終業式 地域生徒会 大掃除 PTA小中合同校外補導
20	土	県中学校総合体育大会(～26日)
21	日	水難事故防止運動強調期間(～8/31)
22	月	第1回学校評議員会
25	木	3年生三者面談(～26日)
28	日	PTA小中合同リサイクル

《お知らせ》

石田秀輝先生による特別授業の実施

南日本新聞の論点や、小学6年の国語の教科書に掲載されている「自然に学ぶ暮らし」を執筆され、環境科学、材料科学を専門に研究されている石田秀輝さんを講師にお招きし、環境問題に関する特別授業を実施します。

石田先生は、現在、沖永良部島に移住され、持続可能な島づくりをめざして、地域の方々と様々な実践活動に取り組んでおられます。これらの実践の中には、土橋地区の活性化につながるヒントもかくされているのではないかと思います。

そこで、土橋地区の皆様にも今回の授業をご参観いただき、一緒に学ぶ機会を設けたいと考えております。

については、下記のとおり実施いたしますので、希望をされる方はぜひご参加ください。

記

期日 令和元年7月17日(水)

時間 午前10時45分～午後0時35分

場所 土橋中学校パソコン室

申込 参観を希望される方は、次のいずれかの方法でお申し込みください。

1 右下の申込書に必要事項をご記入いただき、土橋中学校へご提出ください。(直接お持ちいただいても、生徒や保護者等を通して提出いただいても結構です。)

2 お電話でお知らせください。
電話番号 273-9230
(担当 教頭 塩向)

切り取り

石田秀輝先生による特別授業 参観申込書

御氏名	
御連絡先 電話番号	